

地方紙とローカルジャーナリズムを考えるイベント

For Students

地方紙は面白い！

現場記者と考える 取材、報道、未来

10月11日（土）午後1時～5時半（予約不要・無料）

TKP新宿西口カンファレンスセンターホール8C

（新宿区西新宿1丁目10-1ヨドバシ新宿西口駅前ビル8階、JR新宿駅7番出口徒歩1分）

土地に深く根ざし、細やかなニュースを届ける地方紙は、地域の誰もが知る存在として、地方の言論や自治を支えています。それぞれの地域で全国紙より大きな影響力を持つ各社が集まり、地方紙の今と未来について伝えます。

地方紙の影響とは？
地方紙記者の生活は？
地方紙記者は何を守るのか？
地方紙はこれからどうなる？

参加新聞社



イベントでは、地方紙6社の気鋭の記者が登場し、自身の取材や記事について熱く語ります。また、記者や採用担当者と交流することができます。基調講演では、元共同通信社記者で「パナマ文書」報道を手がけた早稲田大学の澤康臣教授が、地方紙の意義や未来について語ります。

- プログラム① 早稲田大・澤康臣教授の基調講演
- プログラム② 各社記者からの報告
- プログラム③ 各社ブースでの個別説明・質疑応答

イベント参加社…北海道新聞▽河北新報（宮城県）▽信濃毎日新聞（長野県）
▽京都新聞▽神戸新聞（兵庫県）▽中国新聞（広島県） — の記者・採用担当者

主催…報道実務家フォーラム&地方紙6社連合

問い合わせ…事務局 北海道新聞社経営管理局 (ent2027@hokkaido-np.co.jp)